

だいがまち

茨城県大子町の概要

1 位置及び面積

茨城県の最北西端部に位置しており、日本三名瀑の一つである「袋田の滝」を有し、総面積 325.78km²と茨城県全体の約20分の1の面積を占める広大な町。

2 人口及び高齢化率(国勢調査より)

年	S30	S45	S55	H2	H12	H17	備考
総数(人)	43,124	32,953	29,524	27,067	23,982	22,103	
0～14歳(人)	16,379	9,259	5,989	4,816	3,115	2,381	
15～64歳(人)	24,190	20,315	19,330	16,775	13,465	12,157	
15～29歳(人)	10,352	6,049	5,554	3,544	3,079	2,680	
65歳以上(人)	2,555	3,379	4,205	5,473	7,402	7,565	
若年者比率(%)	24.0	18.4	18.8	13.1	12.8	12.1	
高齢者比率(%)	5.9	10.3	14.2	20.2	30.9	34.2	
世帯数(戸)	7,779	7,610	7,643	7,589	7,499	7,356	

3 財政規模(平成19年度当初予算ベース)

会計	予算額	伸び率	備考
一般会計	85億7,300万円	2.8%	
特別会計			
国民健康保険事業	27億5,400万円	6.0%	
老人保健	24億8,900万円	△4.3%	
介護保険	16億1,100万円	3.4%	
公共用地先行取得事業	8,690万円	△16.7%	
企業会計			
浄化槽整備事業	2億4,880万円	5.2%	
下水道事業	4,720万円	新規	
水道事業	6億6,878万円	△5.4%	
総計	164億7,868万円	2.1%	

※平成18年度…財政指数 0.34

4 地域特性

- ①観光入込客数 … 平成18年度 約110万人 (うち袋田の滝は約64万人)
- ②森林面積 … 25,623ha (行政区域面積の約80%)
- ③特産品 … 奥久慈りんご(観光りんご園が主体), 奥久慈茶(茶生産の北限地域), 大子米(コシヒカリ:全国お米まつり・イン・しずおか2006にて最優秀賞を受賞), 奥久慈こんにゃく, うるし, 奥久慈しゃも, 常陸牛 など多数

「若者の住むまちづくり」をめざして

1 外部からの活力導入

(1) 企業の誘致

- ・働く場の確保のため、各種の優遇策を実施し、企業誘致を積極的に推進

(2) 都市住民の誘致

※①山田ふるさと農園

- ・1区画約300坪の農園付き住宅用地を20年間無償で貸付

②空家対策

- ・町内の空家を調査、データ化し、移住希望者等に対して紹介

③遊休農地の利活用

- ・宅地化が可能な遊休農地を調査し、移住者希望者に対して紹介

(3) 観光客の誘致

①体験型観光への移行

- ・民間団体「大子町ふるさと交流体験協議会」などと連携し、体験型の観光を推進

②袋田の滝のリニューアル

- ・袋田の滝新観瀑台の建設をはじめ、滝周辺的环境整備

2 住民の活性化

(1) 地域イベントの実施

- ・住民主導型で開催する「常陸国YOSAKOI祭り」などを支援

※(2) 読書のまち宣言

- ・読書を通して心の豊かさを育てる町づくりなどを旨とし、平成19年6月に宣言
- ・学校等が家庭や地域と連携し、町をあげて「子ども読書の街」を推進

(3) 子育て支援施策の充実

※①子育て世代向け住宅の整備

- ・子育て世代向けの町営住宅の建設。住宅のデザインは公募方式を採用

※②給食費の補助

- ・町内小中学生を対象に、2人目以降の学校給食費を補助

※③既婚者を条件とした町職員の採用

- ・採用条件を既婚者などとした、中堅(30歳～42歳)の町職員の募集

「※」印は、全国初となる施策になります。

大子町の過疎対策

茨城県 だいご 大子町

企業誘致に関する記事

大子町、企業進出に優遇策

雇用促進奨励金や 固定資産税免除延長

大子町は十月から、同町への進出企業に対し、奨励金の拡大や固定資産税の減免期間の延長などの優遇策を始める。県内自治体の企業誘致競争は激化しており、同町では条例を新たに制定、一部を改正し、少しでも差をつけようとする懸念の取り組みだ。

新たに制定した「大子町企業立地促進条例」は、同町に今年十月以降に立地（新設）、事業拡張（増設）した企業が対象で、町民を雇用した場合作して一人当たり十五万円を三年間交付する。このほか、「町固定資産税の課税免除に関する条例」と、「町産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税に関する条例」を一部改正し、土地や家屋、機械などに掛かる固定資産税

の免除期間を三年から五年に延ばす。

他の県内市町村では、奨励金は一人当たり十万円、固定資産税免除は三年のところが多く、町では「十五万円交付は県内では初めて。近隣自治体と差をつける」とで町内への立地促進を図っている。

奨励金の対象は、製造業、ソフトウェア業、旅館業、交付は新規雇用が五人から五十人までとし、一社当たりの上限額は七百五十万円。

他自治体と差つけ立地促進

固定資産税に関して、現在は、投資額二千七百万円超の製造業、旅館業を対象に三年間免除しているが、十月以降はソフトウェア業も加えて五年間に延長する。また、製造業、旅館業以外にも、業種や投資額にかかわらず、町民を五人以上新規雇用した場合には三年間免除しているが、五年間に延ばす。

立地候補地については、山田地区、矢田地区の遊休町有地や、学校跡地など約十カ所を想定し、企業の業種や計画に応じて活用していきたいとしている。誘致活動のためのパンフレットを制作し、企業訪問も行う予定だ。

綿引久男町長は、「大

子町は地価が安く、初期の設備投資の負担が少なく、地盤が強固で地震による災害がないことなど、工場や事業所を新たに操業開始するのに非常に適している。町有地を低価格で譲渡、貸し付けることも検討したい」と話している。

（高島和弘）

大子町と
共立産業

土地売買契約に調印

町長「若者が働ける場確保」



土地売買契約の調印を終え握手を交わす杉野共立産業社長（左）と綿引町長。大子町役場

大子町山田に工場進出

を計画している精密ゴム部品製造の共立産業（本社さいたま市、杉野榮一社長）と同町は十一日、同町役場で土地売買契約に調印した。杉野社長は「環境面には十分配慮し、町民と仲良くやっていきたい」と述べ、綿引久男町長は「今後も、若者が働ける場を確保できるように大子町のブランドイメージを上げる情報発信をしていきたい」と話した。

調印後の記者会見で、立地を決めた理由として杉野社長は「交渉の中で町の熱心さや活気が伝わ

ってきた」と指摘し、本社から近いことも挙げた。地元雇用は三年間で一人十五万円の雇用促進奨励金交付や固定資産税の五年間免除など町独自の優遇策を「画期的」と称賛した。

また、現在ある静岡工場が手狭になっていることから、今後、大子工場では、新製品も含めた製造拠点とし、研究開発も行いたい考えを示した。同町への企業立地は、一九九二年二月に浅川地

区へ進出した特殊ガラスチック製造のクラスターテクノロジ（本社東大阪市）の関東工場以来、同社も今月十六日、工場拡張工事に着手する。（高員和弘）

山田ふるさと農園に関する記事

活気づくきりかけに

太子町が今年9月下旬から、800517

00平方以上の町有地16区画の無償貸与を始め、首都圏の団塊の世代を中心に注目を集めている。18日現在、応募は95件に上る。制度を作ってから半月で1000件を超えた問い合わせ件数は今や「数え切れない」(町企画課)。町は県内で唯一、市町村単位で国の指定を受ける過疎地域だけ

太子町有地を無償貸与

に、活気づきかけになれはと思っている。

現地はJR水郡線常陸太子駅から車で約10分の山田地区。雑木林に覆われ、脇には沢が流れる。林を抜ける風と沢水の音以外何もしない。町が募集を始めて間もなくのころ、現地で見えた光景はともせいたくに見え

「何も無い場所に人が来るのだろうか」という声もあったという。募集を始めると、役場に電話が殺到。11月23日の地元住民との交流会を兼ねた現地説明会には600人を超える人が駆けつけ、道路は県外ナンバーの車であふれた。

顔を見せていたのが印象的だった。東北振興は県政の重要課題の一つ。しかし福島県に抜ける常磐自動車道も企業立地も県北の中でも臨海部に偏る一方で、人口の減少率は山間地域がより深刻だ。「北北格差」まで出ている。

こうした厳しい中で太子町が好評価を受けた。さらに町は今月、16年ぶりに企業誘致に成功した。地元での雇用創設にもなる。埼玉県内に本社があるゴム製品製造業で、町によると企業は「土地の無償貸与も元気があっていい」と進出の理由に挙げていたという。

これで即、明るい未来が開けるほど甘くないのは分かる。だが町外で大きく注目を集めたのは、町にとって大きな自信になったに違いない。綱引久男町長は「(過疎からの脱却を)あきらめるのでは、だめ。厳しい条件の中で、どういつ町づくりができるのか。これからも考えていく」と話している。



町役場内には当初「参加者からは「何も無いのがいい」という感想を幾度となく聞いた。広い土地が無償という条件以上に、人気の理由はそこにあるのだろう。一方、迎え入れる地域の人たちは大勢の人を前に「町が明るくなりませぬ」と笑



現地説明会では地区住民(左)から地元産のリンゴなどが振る舞われた—太子町で

町への居住者増加の夢は膨らむ。好循環が続くことを願う。

【若井耕司】

宅地20年間無料 大子で説明会

600人超参加「病院は雪は」

大子町は23日、約1千平方メートルの農園付き住宅用地を20年間タダで貸す制度の現地説明会を開いた。当初見込んだ300人程度の見学者の2倍となる、600人超が訪れた。参加者の顔ぶれも若者男女様々で、職員は飛び交う質問の応対に追われつつも、予想外の盛況にうれしい悲鳴を上げた。地元山田地区の住民も、みそ汁や赤飯などを配り歓迎ムードを盛り上げた。

無償貸与の対象となる住宅用地は、1区画750～1746平方メートルの計16区画。町は募集条件として、おおむね65歳以下▽年間90日以上の居住▽

地にタダで住めると知った全国の人たちから、電話やメールで3千件近くの間い合わせがあった。海外在住の邦人からの照会もあった。

23日の現地見学会で参加者は、「病院はあるの？」「近くの山は崩れない？」「雪は降るの？」など、町の担当者に矢継ぎ早に質問した。東京都中央区から来た元銀行員の男性(61)は、「小学生の子もいるが、こ

う田舎の学校に通わせたらのびのび育つかもしれない」と移住に前向きな様子を見せた。「思ったより都心から遠い」などの居住に消極

無償貸与住宅の現地説明会を訪れた人たちの主な理由

参加者	現住所	動機
元会社員男性(62)	千葉県浦安市	リタイア後に田舎暮らしがしたかった
男性会社員(29)と妻(26)	東京都台東区	IT関連の仕事をしている。田舎でも仕事ができる
男性会社員(51)と妻(52)	つくば市	ハイキングが趣味で、別荘感覚で田舎に家がほしかった
最近会社を辞めた男性(28)	神奈川県茅ヶ崎市	自給自足の生活をしたかった
元会社員男性(64)と妻(64)	東京都葛飾区	2人とも出身が東京で田舎暮らしがしたかった
男性会社員(57)	千葉市	母親が茨城県北出身で、リタイアしたら一緒に暮らしたい

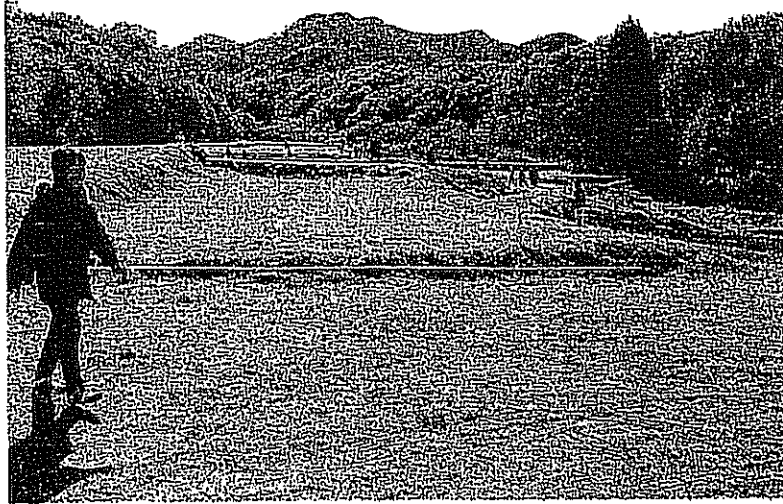
的な感想もあったが、「大子の町中心部に近い」「景色がすばらしい」など、評判はおおむね上々だった。綿引久男町長も「大子は過疎化で活気が失われつつある。都会の人の元氣を持ってきてほしい」と上機嫌である。



「病院はある？」「スーパーは近い？」。参加者からは様々な質問が飛び、職員は対応に追われた。大子町山田で

与償無地有町の町の子大

昨年11月の現地見学会で区画を見て回る参加者



大子町は、先月まで募集した町有地16区画（800～1700平方メートル）の無償貸与に179組の応募があり、平均倍率は11・2倍だったと発表した。平均年齢は56・1歳で東京45組、神奈川33組、埼玉29組、千葉24組。首都圏の団塊の世代を中心に人気を集めた。年齢は団塊の世代以外にも30代、40代の若い子育て世代の応募もあった。世帯人数は1・5～2人で、平均すると2・2人。ソバや果樹の栽培から音楽活動、レストラン経営までさまざまな夢を描いてい

応募179組、平均11・2倍に

ソバ栽培・音楽活動…

首都圏の団塊世代に人気

るといふ。最も人気が高かったのは1700平方メートルの最大区画で、倍率は50倍に上る。町は過疎対策として昨年9月、同町山田の遊休町有地1万6430平方メートルを無償貸与することを決めた。町内の業者を利用して住宅を建てることや、定住や年間90日程度以上居住することを条件に応募者を募っていた。町は定住・2地域居住の別、年齢、家族構成などを考慮しながら書類選考、面接を経て3月上旬に居住者を決定する。

【若井耕司】

「読書のまち」宣言に関する記事

大子町議会

心の豊かさ育てよう

「読書のまち」宣言

図書購入費を補正計上

大子町議会は六月定例会最終日の十三日、「読書のまち」宣言を採択した。綿引久男町長は「町の人材育成の一環。読書を通して心の豊かさを育てる町づくりを推進していく」と説明した。

勉強室のスペースを設ける方針だ。(園部章)

追加提案された宣言では、読書のさまざまな効果を挙げ、読書のすばらしさを全国に発信する町づくりを目指し、赤ちゃんから園児、児童・生徒、親子、それぞれの年齢に合わせた施策を行う。読み聞かせ、読書の習慣をはぐくむために朝の読書、読書を通して親

子のコミュニケーションを培うために「家読」(うちぢやく)などに取り組むことを明記している。

同町の「読書のまち」宣言に関する予算は約六百五十九万円。このうち六月定例会で可決された補正予算では、幼児健診の際に絵本を二冊ずつを贈る図書購入費九十九万円、図書館「アチ・ソフィア」の図書購入費三十万円などが新たに計上された。

同町では、中心市街地にある日本たばこ産業の集荷場跡地に文化施設を整備する構想策定に取り組んでいるが、その中には読書室や高校生向けに

子ども読書の街に 大子町が選ばれる

文科省「家読」取り組み評価

子どもの読書活動を推進するため、文部科学省が本年度創設した「子ども読書の街」に、本県の件に十自治体が選ばれた。大子町が選ばれた。全国の各教育委員会から応募があった中から、市町村

内のすべての小中高生の参加、他のモデルとなる独自性・普遍性などを要する。大子町は「読書のまち」を宣言し、家庭内での読書推進活動「家読」を推進委員会（仮称）を設け、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

庭・地域の読書に対する意識の高揚②地域社会の読書環境の整備③読書を基盤とした人づくり・町づくり④「読書のまち」の具象の全面への発信を重点項目に掲げ、二カ年度計画で「子ども読書の町推進委員会」（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

寄稿

読書コミュニティ
ネットワーク代表
庄司 一幸

私は文部科学省の「子どもの読書サポーターズ会議」のメンバーに選ばれた。これは「子どもの読書の街」の推進を担うことだ。

「子ども読書の街」は、本年度の文科省の新規事業である「読心・開心」の習慣の確立に向け、全国的に推進している。大子町が選ばれた。これは、大子町が「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

新しい読書活動の波

先進的な大子町の「家読」

知恩（高槻市）大阪府）に感かっている。そのた校を中心に、地区公民館を中心として、小中学校と高校や海のターミナル、診療所、保健福祉センターなど、人が多く集まる拠点を中心に、国民的読書運動の波を引いている。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

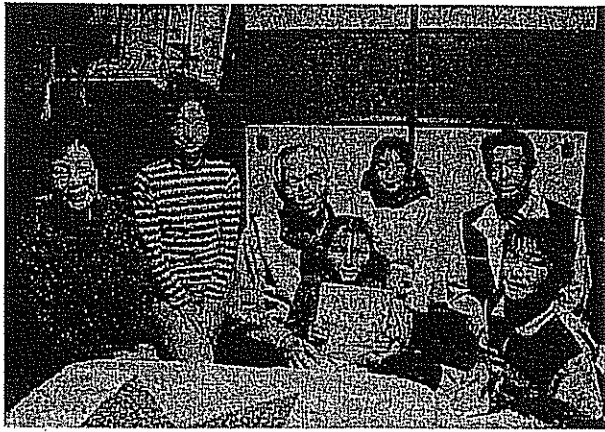
大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町は「読書のまち」を宣言し、読書推進委員会（仮称）を設けて、講演会の開催、町図書館「フューン」や公民館分館など積極的に取り組んでいることが決め手になった。同町は子どもたちの読書習慣の確立を図る。

大子町「読書のまち」を宣言



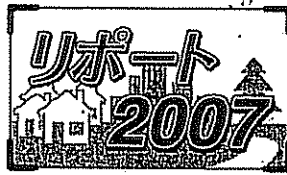
家族全員で家読を楽しむ木村さん一家＝大子町大子

徐々に浸透「家読」

全国に先駆けてユニークな「読書のまち」を宣言した大子町が、家族ぐるみで読書に取り組み「家読(うちどく)」に取り組んでいる。読書離れが多い大人にも読書習慣を浸透させ、本を媒介に家庭内のコミュニケーションを豊かにするのが狙いだ。本年度の「家読」推進指定校のたいご小学校に子どもが通う家庭を訪ねてみた。

(常陸大宮支局・高島和弘)

「毎日三十分くらい、夕食を終えてお風呂に入ってから、パジャマ姿で好きな本を読んでいる」



家族に笑み、人材育成も

同町大子の専業主婦、木村浩子さんは、毎日午後七時半から八時にかけて、長女の知聖さん(二)、長男の直嗣君(九)、朱里ちゃん(五)と二階の部屋へ。ふとんの上で就寝前のひととき、読書を楽しむのが日課だ。

浩子さんが今読んでいるのは、NHK大河ドラマで

同町大子の専業主婦、木村浩子さんは、毎日午後七時半から八時にかけて、長女の知聖さん(二)、長男の直嗣君(九)、朱里ちゃん(五)と二階の部屋へ。ふとんの上で就寝前のひととき、読書を楽しむのが日課だ。

浩子さんが今読んでいるのは、NHK大河ドラマで

生の直嗣君は冒険ものが好む。きで「かいけつゾロリ」シリーズを読んでいる。幼稚園に通う朱里ちゃんには、浩子さんが「おしいれのぼっけん」を読み聞かせる。木村さん宅では、学校の図書室のほか、町図書館や「ソフィア」二週間に一人五冊の割合で借りている。二万月に一度は常陸大宮市や水戸市内の書店に掛けて購入する。本棚は父の父蔵業の政久さん行くと、朱里の分までカバンに「染み込ませる」ことが大町ぐるみで本に親しむ環境づくりを強調する。

「家読だより」を発行し、その中で体験談と感想を紹介している。しかし、取り組み方は家庭によって千差万別で効果は見えにくい。同小が保護者に向けて家読を呼び掛けた五月初、「忙しくて、時間が取れない」「なかなか読みたい本が見つかからない」といった、戸惑いの声も上がり、家庭への啓発、浸透が課題だった。

「手応えを感じにくい」が、早急に成果を求めるものではない。保護者に「プレッシャーを与えないこと、なによつにしなければならぬ」と、同小学校で指導する教諭の一人は語る。同校が実施したアンケートでは、少しずつ意識の変化が表れ始めたという。「まず関心を持ってもらうことが

町営「えのき台住宅」に関する記事

町営住宅若者好みに

若い世代に選ばれ、住んでもらいたい。大子町が、こんな町営住宅デザインの公募をしている。建設業者から募集したデザインを、若い女性らに選んでもらい、今年度は4戸を建設する。「若い世代が町内に残ってくれるきっかけになれば」と期待する。県などによると、同町の人口減少率は2・09%（06年10月1日現在）で県内ワースト。65歳以上の人口比率34・99%（同）

業者からデザイン公募 女性集めて審査、建築

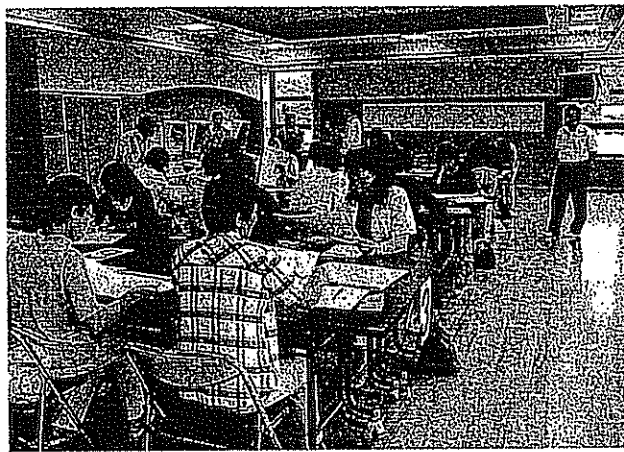
は県内で最も高い。今回の若い世代向けの町営住宅のデザイン公募は、若者の流出対策を重要政策に掲げた綿引久男町長の発案。今年度約5千万円を予算化した。町営住宅は、廃校になった旧矢田小学校跡地に造る。1戸あたりの敷地面積は227・8平方メートル、床面積は81・3平方メートル以上を予定。共働きの夫婦を意識して、各住宅には車2台分の駐車スペースを確保する。木造で

大子町「引き留め」目指す

柱や梁には県産木材を多く使うよう求めている。町内の建設業者から、平面図や間取り図、立面図、アピールポイントを記した提案書を、7月10日まで受け付ける。その後、町内の若い女性を集めた審査会のような組織を作り審査。4棟分を選び、提案業者が建築を請け負う形で、来年3月完成、4月入居を目指す。「若い人に好まれるようなデザイン重視の住宅の提案を」と町建設課。完成後は月5万〜7万円程度で賃貸する予定という。

主婦の視点で選考

大子町営住宅の設計プラン



町営住宅の設計・施工業者を選ぶ選考委員の主婦＝大子町保健センター

簡易公営型プロポーザル(提案)方式を初採用し、大子町が本年度から整備する若者夫婦向けの町営住宅「えのき台住宅」の応募プラン選考委員会の応募プラン選考委員住宅をひと、主婦の目

選んだ四件の設計案が採用された。えのき台住宅は、新婚夫婦や子育て世代が主な入居対象で、同町矢田の旧矢田小学校跡地に、来年度までに一戸建ての九棟を整備し、四棟が本年度中に完成する。「コストダウン」「公平、透明な業者選定」「住民が入りたい住宅」の三点を重視し、概算・詳細設計、施工までを町内の業者に委託し、魅力ある住宅を目指す。

選んだ四件の設計案が採用された。えのき台住宅は、新婚夫婦や子育て世代が主な入居対象で、同町矢田の旧矢田小学校跡地に、来年度までに一戸建ての九棟を整備し、四棟が本年度中に完成する。「コストダウン」「公平、透明な業者選定」「住民が入りたい住宅」の三点を重視し、概算・詳細設計、施工までを町内の業者に委託し、魅力ある住宅を目指す。

一戸当たりの工事費が一千六十八万円以下、主に県産材を使った木造住宅、などの条件を満たした二十五件が町内の十五業者から提案され、十九人の選考委員は業者名を

伏せた技術提案書を吟味。投票で十件に絞り、さらに投票を重ねて四件が決まった。委員の一人は、「部屋数が多くて、家事がしやすいものを選んだ」と選考理由を話していた。

今後、町は決定した四件を提案した業者に通知。八月までに詳細設計を提出してもらい、九月初めに請負契約を結ぶ。完成は来年二月ごろの予定。三月中に入居者を募集する計画。(高島和弘)

今後、町は決定した四件を提案した業者に通知。八月までに詳細設計を提出してもらい、九月初めに請負契約を結ぶ。完成は来年二月ごろの予定。三月中に入居者を募集する計画。(高島和弘)

その他 町政全般に関する記事

太子町が給食費補助

太子町は来年度から、町内の小中学生を対象に、学校給食費の一部を補助する制度を始める。各世帯で1人目の小中学生の給食費はこれまで通り全額負担となるが、2人目は半額、3人目以降は無料にする。育児にかかる金銭的負担を軽減するとして、子育て支援と少子化対策につながる狙いがある。

2人目は半額
3人目は無料
小中生対象

地元高校も 組み合わせ

町内の小中学生計約1500人のうち、半額補助を受けられるのは約430人、全額補助が約80人以上、全額補助は年間約1200万~1300万円と試算している。町の給食費の月額負担は、1人当たりで通常なら、小学生で3900円、中学生で440

0円かかる。

補助対象はあくまで小中学生に限るが、町内唯一の高校である県立太子清流高に通う高校生がいる場合は特別に起算対象とする。

例えば、高校生の長男と中学生の長女、小学生の二男がいる家庭では、長男が町外の高校なら、長女は全額負担し、一男が半額負担となる。しかし、長男が太子清流高の生徒なら、長女が半額、一男が全額補助を

受けられる。町は「太子清流高の定員確保と高校生の町外流出に歯止めをかけられれば」と期待している。

県教委は給食費の補助制度について「県内では聞いたことがない」としている。全国では、山口県和木町が小中の全額、東京都江戸川区が小中の3分の1を補助している。北海道三笠市は小学校分を全額補助。山梨県南アルプス市は小中に子供が3人以上通う世帯の第3子以降に全額補助している。ただ、太子町のように地元高校まで組み合わせた制度は極めてユニークな試みとみられる。

求ム「町」に骨をうづめる覚悟

条件は既婚者

茨城・大子の社会人採用



茨城大子町

観光名所「袋田の滝」や名産・奥久慈しゃもで知られる茨城県大子町（編引久男町長）は、受験資格を「既婚者」に限定した社会人向け職員採用試験の受け付けを九日、スタートさせる。全国的にも異例の採用手法とみられるが、既婚者採用で家族ぐるみの町への移住につなげ、過疎化に歯止めをかけるという狙いがある。町長は「町に骨をうづめる覚悟のある人材」を確保したいと意気込む。

選挙するのには、一般市などの勤務経験のある二政職二人で、民間企業など十一、四十二歳）今年四月一日現在（が対象。現在が、総務省公務員採用の居住地、出身地は問わ「自治体の社会人採用ない。応募期間は三月六で、職務経験や年齢を条件とする例は多いが、日まにで、同日十二日「既婚者に限る」という作文や口述試験があり、同月末に合格者が決定し、町での勤務は四月一日から。

過疎化を食い止めるための苦肉の策とも映る。現在人口は約二万二千人で、十年前に比べて15%近く減少。畜産業や農業を主産業とする東北端の山間地。就職先も乏しいため、地元の高卒の若者が流出が止まらないうち。

過疎に危機感

茨城県大子町が「既婚者」だけを対象とした町職員採用に踏み切る背景には、過疎化に伴う町の活力低下への危機感がある。

問い合わせは、大子町総務課。電話0295-111311。

（水戸支局・生野孝弘）

大子 気軽に利用 音楽館

大子町は2007年度、音楽活動に取り組み町民が気軽に利用できる「生涯学習音楽館」（仮称）を町内に建設する方針を固めた。6月町議会でも関連議案を提出する。

施設は木造平屋建てで、防音設備付きの部屋を2室整備する。

大子町は2007年度、整備費は約4500万円。うち3000万円は日本生くじ協会の助成金を充て、2008年3月までに完成させる方針。施設利用料は格安に抑え、文化ホールを持たない町の貴重な憩いの場にしたいたい。

楽器常備で練習

カラオケもOK

町が新年度建設方針

する。うち1室は電子オルガンやシンバルなどの各種楽器を備え付け、音楽サークルやバンド活動を行う町民が演奏したり、練習に使えるようにする。

もう1室はカラオケセットなどを備え、音楽好きの町民なら誰でも利用できるようにする。

ただ、過疎や少子高齢化に悩む県内最北端の町にとって別の狙いもある。綿引久男町長は「町内の若者同士が音楽を通じて交流する場所を提供すること、将来の結婚につながる」と若者の地元定着に一役買うことも期待している。

文化ホールや観光情報発信

ふれあい交流センター 大子町が基本計画

大子町は、観光、文化、福祉、教育の複合施設として、JR大子駅前の日本たばこ産業跡地に整備を進めている「大子ふれあい交流センター」（仮称）の基本計画を明らかにした。文化ホールや観光情報の発信、子育て支援や学習室などの機能を備えている。

施設内には町観光協会の事務所を置き、自由に利用できる展示コーナーや交流多目的ホールなどを設け、観光の情報発信拠点とする。コンサート

・文化講演会、集会の開催や映画上映などに対応できる四百席の文化ホールも確保する。

さらに、町社会福祉協議会の事務所を中心に、学童保育、乳幼児の一時保育など子育て支援や心配事相談など高齢者福祉の機能充実も図るほか、これまで町内にはなかった学生の利用を主体とした学習や読書ができる学習室を設置する。

建設計画地は現在、町営の有料駐車場として利用されている約六千平方メートル。建物は地元の木材を使用した木造建築で面積は二千二百平方メートル。百二十台分の駐車場を確保する予定。

今月から九月にかけて地元説明会を開いて意見交換し、十月以降に実施設計に入る。総事業費は約七億円。二〇〇八年から二〇九年で建設し、〇九年度末の開館を目指す。

（高島和弘）

存続求め署名活動へ

町、治安の低下懸念

大子署廃止問題

警察署の「再編整備構想」で現在の大子署を大宮署の分庁舎とする案が盛り込まれたことをめぐって、大子町が危機感を強めている。地元にとって警察署は治安のシンボルであるためだ。県警側は警察署としての「機能」は従来通り地元に残るとして理解を求めたが、町側は「警察署があったから町の治安が守られてきた」（編引久男町長）と、あくまで「組織」としての警察署存続を要望。近く警察署の「死守」へ町を挙げての署を活動に乗り出す。



再編・統合の対象となっている大子警察署＝大子町池田

県警「機能は残る」

町は九日の区長会役員会で承認を受け次第、中学生以上の全住民対象の署名活動に着手し、早ければ今月末にも要領署と署名簿を県警本部長や知事などに提出する予定。大子町ではこれまでにも簡易裁判所が廃止されたり、営林署の管理部門が水戸市へ移転するなど、行政の出先機関が姿を消してきた経緯がある。

大子署の廃止・統合案について、町議会の木澤源一郎議長は「観光の町に力を入れているときに逆行する」と、治安イン

フラの低下を懸念。編引町長も「県の税金はこれまで県南地方や鹿行地方に重点配分されてきた。警察署も町からなくなってしまうは、茨城の南北問題は加速する一方だ」と懸念を募らせる。



なものと打ち明ける。構想では、警察署から分庁舎に移行しても、刑事、生活安全、交通各課などの機能は残され、運転免許の更新や犯罪に関する相談は従来通り受け付ける、と口にする。

大子署廃止案に抗議

町長「受け入れられない」

県警の「再編整備構想」に、大子署を大宮署の分庁舎とする案が含まれたことについて、大子町の綿引久男町長は一日、宮越極真署本部長あてに「まったく受け入れられないものではない」とする抗議文を提出した。抗議文で綿引町長は「大子町は犯罪や事故も少なく、それは現在の大子署の体制が十分機能しているため」との認識を示した。

県警は、治安回復に向一日まで、構想に対するけた「警察力」強化を念 県民の意見（パブリック・コメント）を求めている。一日から三十

構想策定に当たり、県 休日等の体制もせい弱とな 警は小規模警察署の廃止 立が困難」として、管轄 事故の捜査体制や夜間・ 区域の移管や編入、配置

のあり方を見直し、効果的に機能する体制確立を目指すなどの目標を掲げている。

綿引町長は「町の声が無視されており（大子署廃止は）とても受け入れられない。県総合事務所の再編では事前に意見を聞いている。町を挙げて存続を求めたい」とコメント。

七日に町議会全員協議会で町としての方針を決め、区長会にも諮る意向を示した。

（大平賢一）

300坪を

無料

でお貸しします!

ゆったり まったり
スローライフ三昧



だいご
茨城県 大子町

山田ふるさと農園

ご案内

ここには格別のリゾートライフはありません

ここにあるのは居心地のいいスローライフ

心躍る人生より 心静かな人生を

昼は大地に触れ 夜は星を眺め

体感してはいかがですか

穏やかに流れる楽しい時間を～

「山田ふるさと農園」の概要

山田ふるさと農園は、JR水郡線常陸大子駅から車で10分ほどの位置にあり、自然環境に恵まれた場所にあります。

1区画300坪前後の農園付きの住宅用地15区画を整備し、20年間無償でお貸しします。クラインガルテンとは異なり、使用者自らが家屋等を建築し自由に使用することができます。対象となる方々は、団塊の世代はもちろん若い世代の方、芸術活動をする方など幅広く募集いたします。

- | | |
|--------|---|
| 1 事業名 | 大子町ふるさと農園整備事業 |
| 2 場所 | 大子町大字山田字未沢地内 |
| 3 事業主体 | 大子町 |
| 4 整備内容 | |
| ・整備面積 | 16,430㎡ |
| ・区画数 | 15区画(1区画796～1,745㎡) |
| ・区画内道路 | (H20年度工事)、水道(H20年度工事)・電力の供給のための基盤整備を行う。 |



募集条件

平屋



- ①大子町以外に住所を有する概ね65歳以下の方。
- ②定住または二地域居住する方で、自費で住宅建築をする方。
- ③二地域居住の場合は、年間90日程度居住であること。
- ④住宅は平屋とし、近隣の景観を損なわない外観であること。
- ⑤住宅の建築は、町内建設業者を利用すること。
- ⑥契約後1年以内に居住すること。

優遇施策

- ①町有地を20年間無償で貸し付ける(20年後に貸付更新や譲渡も可能)
- ②「定住促進奨励金」の交付(住民票を移した者に対し、家屋の固定資産税相当額を3年間交付)
- ③「木造住宅助成金」の活用⇒1戸あたり50万円を交付
(県内木材使用、町内建設業者利用、延べ床面積80㎡以上等の条件有り)
- ④「町営浄化槽制度」の活用⇒本体工事費用の8割程度を町が負担(施行業者町指定)
(加入分担金:5人槽77,000円 7人槽97,000円 10人槽117,000円)

町長からのひとこと

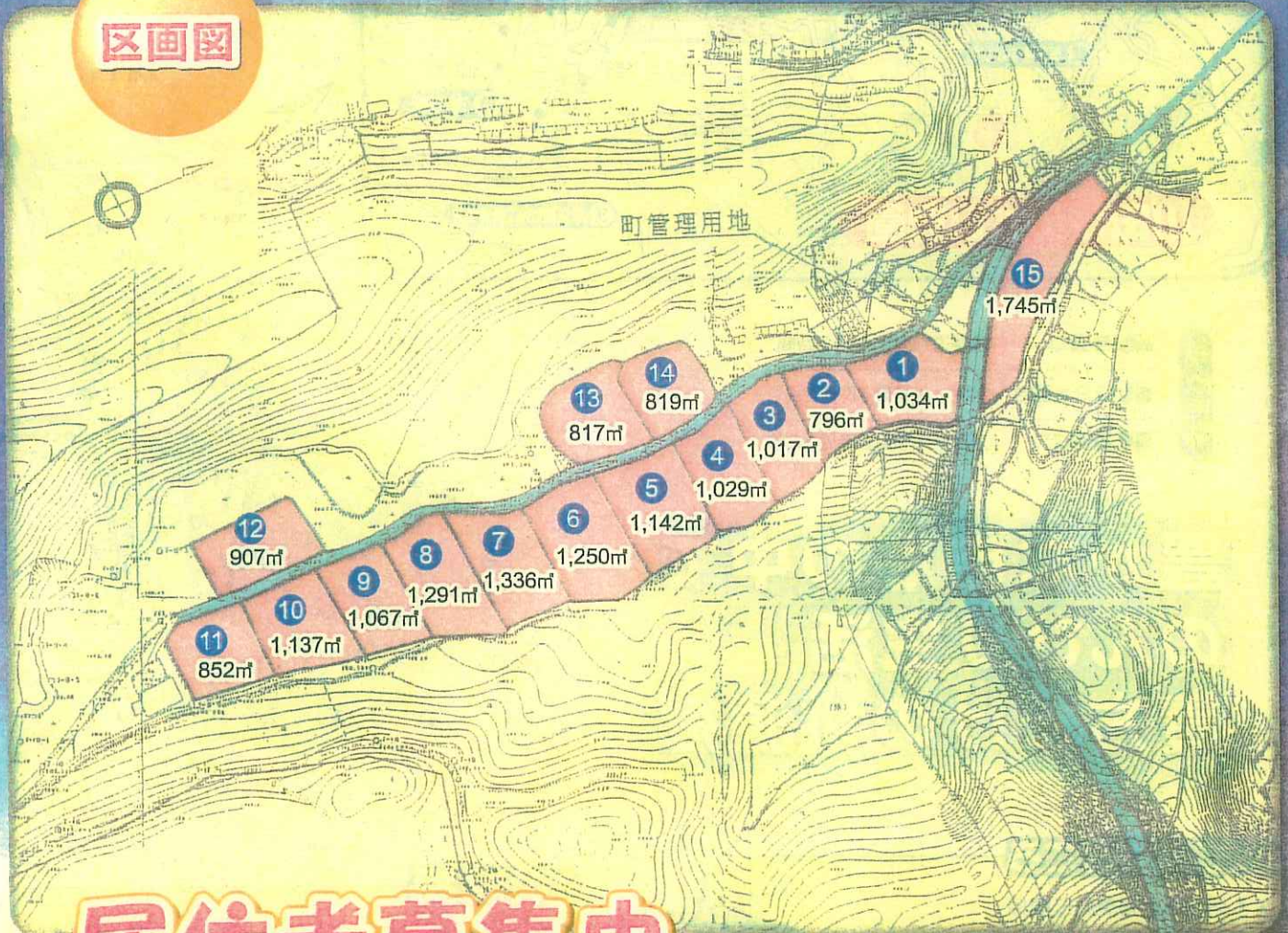
豊かな自然と美しい景観に恵まれた300坪の土地を無料でお貸しします。
家庭菜園や芸術活動に最適だと思います。また、災害や犯罪も少ない安全な町です
ので、安心してお越しください。



大子町長 綿引 久男

—お待ちしております—

区画图



居住者募集中

詳しくは、大子町企画課へお問い合わせください

ショッピング

衣料品・食料品……町中心商店街まで車で約10分

医療機関

町内に9つの病院等（内科・外科・産婦人科・整形外科等）
町内に8つの歯科医院

公共機関

大子町役場……車で約12分	依上小学校……車で約5分
常陸大子駅……車で約10分	大子西中学校……車で約8分
	大子清流高校……車で約10分



金融機関




町内に5つの金融機関（その他、郵便局やJAもあります。）





山田ふるさと農園

アクセス

-  自動車 常磐道那珂ICから1時間
-  JR水郡線 水戸・大子間1時間20分
-  高速バス 上野・大子間3時間30分

豊かな自然の中でのんびり生活 貴方だけの桃源郷



●こんなところ

- 栃木県と福島県に隣接
- 茨城県最高峰八溝山の麓
- 町の中央を流れる清流久慈川はアユ釣りのメッカ
- 日本三名瀑の袋田の滝がある



●特産品

- 奥久慈茶・奥久慈しゃも・奥久慈そば・奥久慈ゆば
- 八溝わさび・漆・こんにゃく・久慈川の鮎・りんご
- 米・小久慈硯・地ビール…

●大子の日本一

- 全国品評会で1位になった米・手揉み茶・奥久慈しゃも
- 全国人気No.1に選ばれたオートキャンプ場「グリーンヴィラ」
- 人間国宝が使用している漆(うるし)・楮(こうぞ)
- 水戸光圈や著名人が使用した小久慈硯(すずり)

●見どころ・遊びどころ

- ゴルフ場が3つあります
- 袋田温泉など温泉が豊富
- キャンプ場がたくさんあります
- アユやヤマメ釣りができます



問い合わせ

大子町 企画課

〒319-3595
茨城県久慈郡大子町大字大子866番地

TEL: 0295-72-1131
FAX: 0295-72-1167
E-mail: kikaku@town.daigo.ibaraki.jp
http://www.town.daigo.ibaraki.jp/

「山田ふるさと農園」問い合わせ状況

1 問い合わせ状況

平成20年1月4日(金) 現在データ

① パンフレット送付数 780部

(東京220・神奈川170・千葉160・埼玉120・茨城95・他海外等)

② 町HPアクセス数 19000件

③ 電話問い合わせ件数 4700件

④ 現地見学者数 580組(11月23日開催現地見学会含む)

2 広報・報道・メディア等

- 新聞掲載 朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・日本経済新聞・東京新聞・茨城新聞・日本工業経済新聞・よみうりタウン・茨城朝日・他
- ラジオ放送 FM東京・TBSラジオ・NHK・茨城放送
- テレビ放映
テレビ朝日：スーパーJチャンネル(10月17日PM6:00頃放映)
TBSテレビ：はなまるマーケット(10月23日AM9:00頃放映)
TBSテレビ：ピンポン(放送日等未確認)
フジテレビ：幸せって何だっけ(12月7日PM8:00頃放映)
日本テレビ：(放送日等未確認)
NHK総合：首都圏ネットワーク・おはよう日本等(数回放映)
- 雑誌掲載
アサヒ芸能(徳間書店)
田舎暮らしの本(宝島社)
フェネック(三推社)：アウトドア雑誌
コレカラ創刊号(リクルート)：情報誌
- 研究視察
都市経営総合研究所(文書取材等)
三菱総合研究所2名(11月14日)
常磐大学(11月30日)
- 行政視察
福島県葛尾村議会8人(10月31日)
宮城県大河原町議会6人(11月5日)
栃木県那須町総務課2名(11月13日)
宮城県白石市他公明党議員3名(11月14日)
奈良県曾爾村村長他1名(11月30日)
静岡県土地改良事業連合会：市町村職員22名(12月14日)
栃木県那珂川町企画財政課4名(12月19日)
新潟県農林公社1名(1月17日)
千葉県市町村議員5名(1月28日)

「山田ふるさと農園」申し込み状況概要

山田ふるさと農園は、全国から多くの問合せをいただき、また、各界から注目をされている中、179組の申し込みを受け付けました。

現在、居住者の選定作業中で、今後は書類による1次選考、面接による2次選考により16組の居住者を決定していきます。

1 申し込み状況

〈1〉申し込み総数	179件（他にキャンセル3件あり）		
〈2〉申請者現住所	東京45・神奈川33・埼玉29・千葉24・茨城24・栃木5・福島3 群馬2・静岡2・宮城2・新潟2・兵庫2・三重2・愛媛1・岐阜1 京都1・イギリス1		
〈3〉居住別	定住85件	二地域88件	未定6件
〈4〉年齢	平均56.1歳	最高77歳	最低28歳
〈5〉倍率	平均11.2倍	最高 区画⑮ 50倍	最低 区画⑨ 4倍
〈6〉世帯人数	平均2.2人	最高5人	最低1人

2 選考について

選考に当っては、大子町として条件の良い方を選んでいく。

条件については、居住別（定住・二地域）・年齢・家族構成・希望区画・建築住宅区規模・キャリア・スキル・所得・土地利用方法等を考慮しながら、総合的に判断し、選考会議において決定する。

最終決定は3月上旬を予定

3 その他

- ① 問い合わせ件数から見ると、179件の申し込み件数は多くないが、抽選ではなく選考によって決定ということでこのような結果になった。
- ② 申込者の定住者と二地域居住者の割合は、約半数ずつで二地域居住者の内数十組は将来定住希望者である。
- ③ 申込者は団塊の世代を中心に、30代・40代と若い子育て世代も多くいる。
- ④ 申込者の中には、自営業者等の高所得者が多く見られる。
- ⑤ 区画ごとの申し込み状況は、面積の大きなところが人気であり、500坪以上ある区画15が一番人気である。
- ⑥ 居住者の土地利用希望は、農業（そば・果樹・・・）・音楽活動・動物を飼う・レストラン経営と幅広く様々。

区画図

【12月10日掲載】

「区画⑯」を追加しました。

◎ 実面積 = 875㎡

↑

15
1,745㎡

1
1,034㎡

2
796㎡

3
1,017㎡

4
1,029㎡

5
1,142㎡

6
1,250㎡

7
1,336㎡

8
1,291㎡

9
1,067㎡

10
1,137㎡

11
852㎡

12
907㎡

13
817㎡

14
819㎡

15
1,745㎡

16

